

APT コーデック使用時のトラブル

1. ISDN の回線を認識しない

WorldCast Eclipse の ISDN ポートにモジュラーケーブルを接続してからユニットの電源を入れるようにして下さい。電源が入っているユニットで後からモジュラーケーブルを接続した場合内蔵 TA は回線を認識しません。回線認識するとユニットのフロントパネル上の B1(～B8) LED が赤色に点灯します。(Ready 状態)

特に臨時線や込み合っている交換機に收容されている回線(品質の低下が発生していることがあります。)などで使用する場合、回線をうまく認識できずフロントパネルの LED が点灯しない場合があります。この場合は、次の方法で再度試してください。

- ・モジュラケーブルの結線等の確認
- ・電源の再投入
- ・モジュラケーブルを接続するポートの変更

それでも、認識できないときには次の方法を行います。

- ・LED の点灯している回線から点灯しない回線にアクセスする。
- ・他の電話から LED のついていない番号に電話をかけてみる。
 - * 携帯電話やアナログ電話も可能です。

以上の操作で回線認識しない場合は ISDN 回線の問題か WorldCast Eclipse ユニットのトラブルが考えられます。お手数ですが弊社までご連絡下さい。

2. 回線が繋がりません。

T/A に「BUSY」コードが出る場合は次のようなことが考えられます。

BUSY-17：相手が回線を使用中です。

BUSY-16：相手側と設定が違う場合が考えられます。

BUSY-31：何らかの理由により回線が繋がりにくくなっている可能性があります。

何度かトライするか、しばらく時間を置いてからかけ直してください。

BUSY-41：回線が一時的に故障しています。

一時的なものですので何度かトライするか、しばらく時間を置いてからかけ直してください。

- * 設定が違っているときはほとんどが伝送レートの不一致や ISDN 使用にもかかわらず専用線モードになっていることがあります。
- * BUSY-31 や 41 が表示されるときは回線が込み合っている時間に使用しているときに発生し易いようです。

T/A のマニュアルを参考にして切り分けテストを行ってください。

3. 音声伝送中にノイズが入ります。

相手側との設定を確認してください(特に AUX の ON、OFF など)。改善されないときは一度回線を切断し電源の再投入を行ってください。

4. ”IMUX UNLOCKED”のエラーメッセージが出る。

このエラーメッセージはバルク通信が正常に行われていないときに発生します。

コーデックのバルク設定(IMUX Mode)が間違っていないか確認してください。

*APT コーデック to APT コーデックで通信する場合 → MUCAS

*APT コーデック to NB128A で通信する場合 → NB128

*APT コーデック to NB384A で通信する場合 → NB384

(128kbps の場合でも相手先 TA が NB384A の場合は NB384 を選択します。)

APT コーデック to HC-7000 で通信する場合 → CLEAR

*日立バルクオプション付きの場合

また、128kbps の通信時に B1 と B2 の回線の遅延差が大きい時に発生することがあります。再発信を試みることで解決することがあります。

5. 回線が繋がるが音がおかしい。

通信相手との設定が合っていない可能性がありますのでアルゴリズムを確認してください。

apt-X の場合、Standard と Enhanced 又は Auto sync の on/off 等の設定が違う可能性があります。

* この場合”NO COMING AUTOSYNC “のエラーメッセージで表示されます。